



平成 26 年 10 月 31 日

各 位

上場会社名 井村屋グループ株式会社
代表者 代表取締役社長 寺家 正昭
(コード番号 2209 東証第二部)
問合せ先 常務取締役部門副統括 大西 安樹
(TEL 059-234-2146)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 26 年 5 月 9 日に公表した平成 27 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成 27 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 18,300	百万円 390	百万円 410	百万円 170	円 銭 6.98
今回修正予想 (B)	17,298	239	349	219	9.03
増減額 (B-A)	△1,002	△151	△61	49	
増減率 (%)	△5.5	△38.5	△14.7	29.4	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	17,512	249	327	130	5.35

修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は冷菓商品において上期の主力である「あずきバー」シリーズが夏場の天候不順の影響もあり減少しましたが、今期は通年販売を行っている「やわもちアイス」シリーズが新アイテムの発売効果もあって売上が伸長し、米国でアイスを中心に事業を展開している IMURAYA USA, INC.においても売上が増加しました。また、菓子、食品、デリーチルドでも重点商品が伸長するとともに加温商品を中心とする「肉まん・あんまん類」が順調な立ち上がりとなって「あずきバー」シリーズの売上減少をカバーし、前年同期並みの売上高となりました。利益面では、原材料費やエネルギーコストが上昇する中、製造コスト削減に取り組みましたが、下半期に向けた広告宣伝や販売促進活動の早期実施により販売直接費が増加し、営業利益は前回予想を下回る見込みとなりました。経常利益につきましては円安による為替差益の影響や海外事業での損益改善が図られた事により前回予想には至りませんが前年同期を上回る見込みです。また四半期純利益（税引き後）につきましては以前から計画的に進めてきました創エネによるボイラー設備への補助金を特別利益に計上した事により前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、平成 27 年 3 月期通期の連結業績予想につきましては下期最盛期となる「肉まん・あんまん」類の販売見込みを勘案し、前回発表予想から変更はありません。今後の業績推移に応じて、修正が必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により該当予想値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上